

令和8年6月1日

令和8年度 第1回愛正園地域連携推進会議議事録

1 開会

2 施設内視察

施設内を南棟、はぎの間、中央棟、北棟、ポラリス棟の順でご案内しました。

3 施設長挨拶

地域連携推進会議の目的は施設運営の透明性を図り、地域に開かれた施設づくりを目指し、利用者様へのサービスの質の向上に繋げていくことと考えています。

そのために構成員の皆さまには愛正園のことをご理解いただき、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

4 構成員のご紹介

事務長よりご紹介がありました。

5 議事

(1) 地域連携推進会議の位置づけについて、レジュメをもとに事務局から説明しました。

(2) 障害者支援施設愛正園概要について、令和7年度の事業報告を主に事務局から説明しました。

(3) 利用者様の日常生活について、レジュメをもとに事務局から説明しました。

(4) 意見交換

○ ショートステイの利用者減少について

- ・ コロナ禍以降在宅介護が進んでいると思われる
- ・ 障害者を取り巻く環境の変化が大きく、また求められる施設の在り方も変わってきている
- ・ 高萩市内の在宅障害者が増えている状況はない、親がまだ元気なうちはサービスを利用しなくても在宅で介護できているケースが見受けられる
- ・ 家族は施設を知らないし、知る機会もないために利用に壁（戸惑い）を感じていると思われる。施設見学を勧めていくのも一つの方法と思う。

○ 災害対策について

- ・ 法人内の支援体制は取られているが、地域の力を借りなければならないことが起こると思われる
- ・ 地域も愛正園のことを理解し、連携を図っていきたい

- 愛正園は災害時の地域の障害者の受け入れを検討していく
- その他の事項について
 - 利用者としてこの会議に参加して貴重な経験をさせていただきました。自分は何ごととも支援員さんと相談しながら進めているので不安不満はありません。
 - 利用者家族としては愛正園の支援に対して安心して家族を任せられると思っています。
 - 地域のなかに愛正園のような施設があるのは知る機会がなかったので、今後地域としての関わり、連携を考えていきたいと思います。
- まとめ
 - 親が高齢になり在宅での介護が困難になった、あるいは入院などで家に介護者が不在になるなど、家族に何か起きないと施設を利用することは考えられないという思いをお持ちであることは十分に理解できました。その現状から、まずは愛正園に求められるサービスは何かを考え、提供できるように取り組んでいきます。
 - 利用者の高齢化が顕著です。お一人おひとりの状況に応じて対応していきます。
 - 災害対策については地域との連携方法を検討していきます。
 - 今後も構成員の皆さまに意見をいただいて施設運営に繋げていきたいと思っています。

6 閉会

次回開催予定 令和8年11月頃